

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号: 4

企画名	上島共創ワークショップ（つくるワークショップの開催）
実施日	令和 7 年 9 月 17 日（水）～ 令和 7 年 9 月 21 日（日） 令和 7 年 10 月 18 日（土）～ 令和 7 年 10 月 19 日（日）
実施場所	広島県豊田郡大崎上島町 木江旧警察官舎
企画代表者の氏名、所属	氏名： 仁志桜子 所属：工学部第四類（建設・環境系）
構成員の氏名	秋山友希、王茜蕾、佐藤更彩、竹熊樹 網島雄真、西村紀彦、濱崎礼菜、濱野喜史 東山公美、藤田一樹、小林敬弘、佐藤秀弥 田中日菜、田守希花、土居秋穂、友定真由 花原巧都、帆前まりな、大瀬良渚、川上温大 川久保尚仁、木村伊吹、仁志桜子、納富菜 焦子鈺、榎優志
指導的立場の教員氏名 ※報告内容をご確認の上、ご署名または記名・押印をお願いします。	角金英日
企画の目的及び内容	【つくるワークショップ】 ① 床仕上げ ② 外壁塗装 ③ 内壁塗装 上記は実施した改修のワークショップである。①床仕上げでは、専門家の指導の下、学生の手で製材や木の加工などを行うことで、家づくりに関する実践的な学習を行う。②、③の壁面の塗装においても同様に専門家の指導の下作業を行う。 これらを私たち大学生に限らず、建築に興味のある観知学園や大崎海星高校などの学生もワークショップの対象とすることで、実際に建物に触れ手を加えることでものづくりの楽しさを伝え、体験してもらうことを狙いとする。また建物の外観に手を加えることで通りすがりの住民の方々にも本活動を知っていただく機会となれば良いと考え開催した。
来場者数	[9/17～21] 31名 [10/17～19] 16名
主催・後援団体（外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模）	
活動の内容（準備、広報活動、当日の様子等）	【9月17日～21日】 ① 床仕上げ（フローリング工事） 官舎を訪れた方から「スリッパがないと歩きづらい」という意見があったため、1 階の床を合板仕上げから県産杉の無垢材フローリングに更新した。 1 階と 2 階で仕上げに差を設けたことで、空間の用途の幅が広がり、より多様な使い方に対応できる建築となった。 〔準備〕 フローリングとして施工できるよう、杉板の側面に板同士をはめ込むための“さね（実）加工”を施した。また、9 月のワークショップに先立ち、8 月末に一部のフローリング施工を進めた。 ② 外壁塗装 雨水侵入の原因となっていた外壁のひび割れを補修し、あわせて外壁を白色に塗装するこ

とで、老朽化した印象を改善した。

さらに、地域の方々に簡単な塗装作業を体験していただき、官舎への愛着を育むことも目的とした。

【準備】

塗装に先立ち外壁の洗浄を実施。高圧洗浄機を所有していなかったため、地域の板金屋さんにご紹介いただき、ケルヒャーをお借りして対応した。

【当日の様子】

地域住民の方から差し入れをいただいたほか、市立大学のボランティアサークルの学生、中学生とその家族など多くの方が参加した。

作業中、通りがかった住民から「きれいになったね」「住みたくなるね」といった声をいただき、外観の変化自体が活動の広報効果をもっていることを確認できた。

【10月18・19日】

③ 内壁塗装

1階の雰囲気や床の杉フローリングに合わせるため、漆喰塗装を行った。

施工にあたり合板の隙間をパテで埋めたことで気密性能が向上し、室内環境の改善にもつながった。

また、外壁塗装と同様、地域の方に作業を体験いただき、官舎への愛着形成を目的とした。

【準備】

ワークショップ前日の17日に上島町を訪れ、室内の養生を一日かけて実施した。

【当日の様子】

地域の小学生、中学生、ご家族連れ、前回イベントで出会った地域の方など、幅広い参加があった。

漆喰塗りに参加しなかった方も、これまでのワークショップで変化した外壁やフローリングを見学し、楽しんでいただく様子が見られた。

小さな子どもによる塗りムラへの対応として、外で同時開催した焼き芋イベントへ誘導するなど、良いバランスで進行することができた。

【広報活動】

イベントごとにチラシを作成し、Instagram 投稿や公式 LINE で告知を行った。また、Instagram ストーリーでは準備作業や計画会議の様子を共有した。

さらに、各ワークショップ当日にはウッドデッキ周辺で映画鑑賞会、餅つき、焼き芋などのイベントを同時開催し、小さなお子さまや見学のみの参加者も気軽に立ち寄れるよう企画・広報を行った。

(裏面に続く)

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書 (裏面)

アンケートの結果（来場者にアンケートを実施した場合のみ）

- ・古い家が白く見違えるようになっていい、ゆっくり過ごすのにいいな（70代女性）
- ・はじめて内壁塗装ができて楽しかった。（10代女性）
- ・ワークショップをこれからも定期的にやってほしい（40代男性）
- ・この度は素敵な体験をさせていただきましてありがとうございました！みなさん優しくて、とっても楽しく活動できました！またの機会がありましたらぜひよろしくお願いいたします♡（10代女性）
- ・アーティストの人達が短期や長期で滞在して制作活動ができる場所になるとおもしろいと思います（50代女性）
- ・静かで海と島が見える場所なので、海が見えるカフェ等、この立地を活かす様な使い方が出来たらいいと思います。やってみないとそれがここに合うのか、そうでないのかわからないので、いろんなことを試してみたらいいと思います。（50代女性）

成果・課題

【成果】

- ・外観の変化により、通行人が本活動に関心を示す様子が見られた。
- ・以前のイベントや朝市で出会った方々が旧警察官舎を訪れてくださり、広報活動が着実に効果を上げていることを実感できた。
- ・建築に関するワークショップは特に集客が良く、大崎上島では体験できない内容のイベントを企画することの重要性が確認できた。

【課題】

1. 集客について
 - ・車で来られない場合、移動手段が事前予約制のデマンドバスに限られるため、寮生活を送る高校生にとって参加のハードルが高い。
 - ・その結果、参加表明していた高校生が複数名当日キャンセルとなり、海星高校の生徒の参加促進が課題として残った。
2. 建具について
 - ・イベント期間外の確認ではあるが、海側の窓枠に破損が見られた。
 - ・ワークショップ開始前に養生テープで応急処置を行ったものの、子どもが遊ぶ際に危険が生じる可能性があるため、早急な修繕が必要である。
3. アフターフォローについて
 - ・内壁塗装のワークショップでは、子どもによる工具破損や漆喰の塗りムラへの対応、また子どもの“飽き”への対策が十分とは言えなかった。
 - ・運営側の人数が多い場合はフォローが可能だが、作業と子どもの対応を同時に行うと、どちらかが不十分になる恐れがある。
 - ・今後は、フォロー体制や子ども向けの動線・プログラム配置など、より安全かつ円滑に進めるための改善が必要である。

実施風景（写真）



【提出方法】 指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。

E-mail でも受け付けます。

【提出先】 工学系総括支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)